



用語や事象について、 自分の言葉で説明する力

明治期における諸政策に関する問題

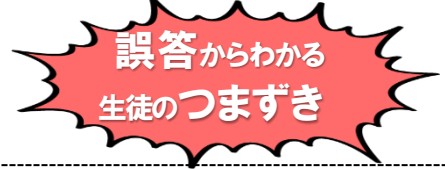
【正答例】(1) 五箇条の御誓文 (2) 殖産興業 (3) イ

特徴的な誤答

- ・ (1) はできるが、(2)、(3) はできない。
→ 「用語短答」の正答率が高いが、資料活用等の「思考・判断・表現」に関連する正答率が低い。(経年的傾向)
- ・ 無解答
→ 【資料】から地券、地租改正ということが想起できない。
- ・ ア(学制) ウ(文明開化) エ(廃藩置県)
→ 地租改正の意味を理解し、政策の結果を知るために必要なものを結び付けることができない。

ここがつまずき!

- ・ 用語そのものを「覚えよう」としている。
- ・ 用語の意味の理解が曖昧である。
- ・ 資料が示すことがわからない。



用語の意味や時代背景についての理解が定着していない。
用語の意味や用語のつながりを説明できますか?

日々の学習の改善・充実

歴史的分野の学習で...

知識・技能と思考・判断・表現の関連性について「～を基に、～に着目して、～を考察し表現することを行い、～を理解する。」という学習指導要領の構造を意識する。

【考えられる実践例「近代の日本と世界」】

◎「なぜ明治政府は江戸幕府の年貢制度をやめて、地租改正を行ったのだろうか？」

「問い」のある展開

- ・ 単元や1時間の授業において、考えることで、歴史的事象の意味や背景について理解できるような「問い」を設定する。(覚えるのではなく、「考えることでの理解」を意識)

- ① 問いに対する予想を考える。
- ② 予想を検証するために必要な情報を考える。

生徒が根拠や意味を考える場面をつくっていますか

生徒が資料の「必要性」を感じるような展開

- ・ 資料をただ与えるのではなく、資料を扱う目的や資料のもつ意義をおさえる。
- ・ 主体的な資料検索を促すような展開を意識する。

T: 予想を立ててみましょう。

S: 米の収穫は不安定だから...ではないでしょうか。

T: よい視点ですね。でも本当にそうなのでしょうか？
確かめるためにはどんな情報が必要でしょうか？

- ③ 地券を提示する。→ 土地の広さ、価格、所在地、所有者 → 売買
→ 地租改正と地券を結び付ける。

実践の中に「問い」や「資料」を効果的に位置付け、
考えたり表現したりする場面を設定する!

教師が
意識する
こと



「H30 山梨県公立小中学校教育課程実施状況調査 中学校 社会科」より改題

次のカードは、明治の主なできごとについて、田中さんがまとめているものである。これを見て、次の(1)～(3)に答えなさい。

年	主なできごと
1868	政府が <input type="text"/> を出し、世論に従う政治を行うことなど新たな政治の方針を示す。・・・・・・・・・・・・・・・・・・ A
1872	政府が群馬県に富岡製糸場を建設する。・・・・・・・・・・・・・・・・・・ B
1873	政府が徴兵令を出す。・・・・・・・・・・・・・・・・・・ C

- (1) Aの に当てはまる語句を書きなさい。
- (2) Bに関連して、政府が各地に製糸・紡績などの官営工場や軍需工場をつくり、近代的な産業を育てようとした。富国強兵を実現するために行われた、このような政策を何というか、適切な語句を書きなさい。
- (3) Cに関連して、次の【資料】は明治政府が行っていた改革の一つと関連するものである。【資料】と関連する改革の結果を説明するものとして最も適切なものはどれか、下のア～エから一つ選び、記号で書きなさい。

【資料】

地券の写真

※著作権の関係で割愛。教科書や資料集の「地券」の写真を活用してください。

- ア 就学率の推移を示したグラフ
 - イ 政府の収入の総額と、収入の内訳を示したグラフ
 - ウ 欧米の文化や生活様式を表わした図
 - エ 府県の数の変化を示した表